

おんじゆく

11

昭和63年11月

第301号

千葉県御宿町役場



健やかに、明るく育て未来の子（合同七つ子祝）

健康づくり

5つの提案



健康こそ人生の宝

健康が第一——わかっていても、ついつい自分自身の体力を過信したり、無理を重ねてしまいます。

病気になるたら医者と薬。それもいいでしょう。しかし、病気にかからない予防——健康づくりが大切です。

そこで五つの健康推進運動を提案します。

- 毎日一万歩は歩こう
- 毎日三十食品を食べよう
- 毎食後に歯みがきをしよう
- 毎日睡眠を十分にとろう
- 毎年一度は健康診査を

毎日一万歩は歩こう

もっとも身近な運動は、歩くことです。歩くことは立派な全身運動。足腰の筋を中心として、腹筋、背筋、腕の筋など、全身の筋肉が使われます。

また、速く歩くと、酸素を多く消費し、心臓や肺の機能を高めスタミナをつけます。それぞれの体力、時間に合わせて、スピードの緩急をつけて、一日一万歩以上歩くようにしましょう。

砂浜や農道など、歩くにはもってこいの環境に暮らしているのですから。



毎日睡眠を十分にとろう

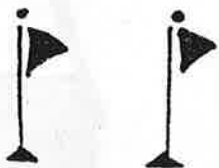
健康を維持するためには、疲労を蓄積させないことです。疲労回復のために最も効果があるのは、なんといっても睡眠です。

健康を維持するためには、

- ▽きまった時刻に床につく
- ▽八時間は眠る
- ▽十二時に寝る

じょうずな睡眠のとり方は、

一定の距離のある目標地点を定めて毎日歩いて往復する。



買物や農作業に出るときは、できるだけ車を利用せず歩く。



5~10分のところは急歩で歩く



毎日の生活
の中で歩く
工夫を!!

毎日30食品を食べよう

私たちのからだは、たんぱく質、糖質、脂質、ミネラル、ビタミンの五つの栄養素が必要です。
六つの食品群をもれなく組

み合わせて、一日三十食品以上とると、必要な栄養素をバランスよくとることができま

毎日、6つの基礎食品を

<p>1群 肉・タマゴ・魚・貝・大豆類</p> 	<p>2群 牛乳・乳製品 骨ごと食べる魚類</p> 	<p>3群 緑や黄の濃い野菜類</p> 
<p>4群 その他の野菜・果物類</p> 	<p>5群 穀物・いも・砂糖類</p> 	<p>6群 油脂類</p> 

バランスのとれた栄養が大切



子どもの頃からの習慣づけが一番

毎食後に歯みがきをしよう

よくかんで食べることが、消化の第一歩です。そのためには、歯が丈夫でなければなりません。

歯は健康の入口です。歯みがきを心がけ、むし歯や歯槽膿漏を防ぎましょう。

毎年一度は健康診査を

健康診査の目的は、自覚症状が出てくる前に体の異常を見つけることです。

どんな病気でも、早く見つけて早く治療することによって、治りも早く、重症にならざにすませることができま

健康診査は、病気の早期発見・早期治療の基本です。

また、毎月町が実施している健康相談を定期的にご利用し、ご自分の健康状態を把握しておくことも大切です。

歯をみがこう!!

● 3・3・3

朝・昼・夕3食とも食後
3分以内に3分間



夷隅郡市広域 常備消防計画

昭和63年11月1日	広域常備消防準備室を設置
昭和64年4月1日 ～65年3月31日	業務開始の準備事務（本部併用庁舎建設・機材整備・職員採用など）
昭和64年4月2日	政令指定を受ける
昭和65年4月1日	広域常備消防業務を開始。大多喜・夷隅・岬・御宿各町に常備の救急業務体制を整備

《施設整備計画(64～69年度)》

64年度……	大多喜町(本部・第1分署)
65～67年度…	夷隅・御宿・岬町(第2、第3、第4分署)
68年度……	大原町(大原署)
69年度……	勝浦市(勝浦署)

65年春を目標に

御宿町にも常備消防

夷隅郡市広域常備消防計画が

まとまる

いままで、常備消防体制のなかった御宿町など夷隅郡四町と消防署をもつ勝浦市、大原町が、一部事務組合を設置。広域的に常備消防体制を推進することになりました。

計画によると、本部を大多喜町に置き、昭和六十五年四月一日の消防業務開始をめざし、施設・機材整備、職員採用を行います。

御宿・岬・夷隅町にも年次計画（六十五～六十七年度）で分署が建設され、ポンプ車救急車などが配備され、一分署十四人の職員が交替で業務

にあたります。

すでに十一月一日から夷隅支庁内に広域常備消防準備室が設置され、各市町から町職員一名を派遣し、事務が進められています。

なお、夷隅郡市広域常備消防を運営する経費は、各市町の世帯数や人口などを勘案した負担金などで賄われますが、国からの地方交付税に算入されるため、各市町の財政には大きな影響はないという県の試算です。

衛生委員さん インタビュー

久保区
吉野仁さん

ひと握りのマナーの

悪さが大きな損失に

Q 今回、久保地区のゴミ集積所を巡回した感想をお聞かせください。

◇ ◇ ◇

吉野「清掃センター職員と久保区内の三十か所のゴミ集積所を巡回しましたが、一部に不燃物と可燃物の混合ゴミや可燃ゴミの日なのに不燃物

が出されていました。全体的に良かっただけに、よけい目につきました。

守りたい

「環境カレンダー」

Q 衛生委員として、地元の人たちに呼びかけたいことはなんでしょうか。

◇ ◇ ◇

吉野「どこの市町村でもゴミの問題が一番深刻となっています。ゴミ処理の経費はもちろんです。可燃物の中に缶やビンが混入していたために起こる炉の故障なども維持管理費を膨大なものにしていくそうです。

ゴミを出す、わたしたち自身が、町の「環境カレンダー」どおり、決められた種類のゴミを決められた日に出すことが大切。これを強調したい。それから、通勤途中など自動車窓から、ゴミを投捨てる人がいるということです。見かけたら、ナンバー等を知らせてほしいと思います。

ゴミ日記



C道・B道の接続道路

広域的水資源の確保

移動政調会で滝口町長が要望



町では、将来へ向けてのさまざまな行政課題を解決するため、国や県などへ積極的に要望しています。十一月十一日には、移動政調会の席上、滝口町長が夷隅地区を代表して、次の二点について要望しました。

早急に工事着手を

C道・B道間の接続道路

▽夷隅地区開発事業C道路からB道路へ接続する道路建設の早期着工

夷隅地区開発事業C道路は、大原町山田地先より県道上布施大原線に通じる未改良区間の工事が六十二年度から三年計画で進められています。

しかし、地域開発と交通渋滞緩和には、このC道路と実谷から須賀に通ずるB道路を接続する道路建設が不可欠です。

この接続道路については、長年の懸案事項であり、六十三年度に調査費が計上され、現在調査が行われていますが、一日も早い工事着工を強く要望したものです。



未改良区間の工事が進むC道路

広域的な水源確保を

開発に伴う水需要見込む

▽広域的水資源開発について 御宿町では、布施、高山田地区の水道給水計画を進めています。御宿町では、現時点では十分といえるダムの水量も、半島振興法やリゾート法の指定に伴う地域開発の進行により、水需要の増大は否定できません。これは、当町だけでなく県南部地域全体の課題です。現在千葉県では北部の主要地域については県が主体となり水資源を確保していますが、南部では、各水道事業が独自で水資源を確保しているのが実情です。

こうしたことから、現在県で進めている「南部地域総合利水計画調査」を早期に完了し、県南部の広域的水源の確保に配慮することを要望したものです。

園服姿で成長を祝う 公民館で「合同七つ子」



来春には小学生。お兄さん、お姉さんの劇を真剣に見る園児たち。

十一月十五日、公民館で合同七つ子祝いが行われ、来年四月に小学校へ入学する七八名の子どもたちが園服姿で出席。町から千歳館やお祝い品が贈られた後、町内三つの小学校の一年生が演じる劇などを楽しみました。

派手になりがちな七つ子祝いの簡素化を目的に始められた合同七つ子祝——御宿・岩和田の二つの保育園児が一堂に会し、互いに子どもたちの成長を祝う町の行事として定着したようです。

みんなの 広場



みなさんからの投稿や話題などでつくるページです。

お年寄りをまじえて

学習成果を発表

御宿
中学校

十一月十三日、御宿中学校の学習成果発表会が開かれ、各クラブや委員会の活動ぶりを披露しました。

今回は、地元のお年寄りにも中学校の様子を知っていただくとうと、老人クラブに呼びかけ、JRC委員会の生徒との会食会を計画。三十三人のお年寄りが招待され、生徒と歓談しながら学校給食を試食。午後からは合唱コンクールの審査員もつとめました。



発掘された石仏の中には寛政12年(1789年)に建立されたものもありました。

よみがえった石仏——

久保区役員が発掘・保存

人々の思いや祈りをこめて建てられ、風雨に耐えていまでも残る石仏や石塔。

久保区では、文化財審議委員の片岡要さん(十月十三日死去)の助言で、このほど地区内の石仏の発掘を行い、庚申塔、馬頭観音、牛頭観音など九体を御宿家政高校下に安置しました。

発掘を行った区役員さんは「子どもの頃に見かけた石仏を片岡先生のおかげで発見することができた。地域の先人の厚い信仰心を大切に守っていきたい」と話しています。



私たちの作品をプレゼントします

「小さな親切」

善行者を表彰

十一月三日、公民館で開かれた「町民文化のつどい」の席上、昭和六十三年度「小さな親切」運動の善行表彰が行われました。

今回、善行表彰の対象となつたのは、町民のみなさんから推せんされた二十一名の中から選ばれた二団体・六名。人のために尽した親切心あ



善行表彰を受けたみなさん

ふれる実行力をたたえ、ここにお名前と概要を紹介します。

▽岩和田小学校JRC（青少年赤十字）委員会

青少年赤十字活動の一環として、独り暮らしのお年寄りを慰問することを決め、学区内に住むお年寄りを訪れて手紙や折鶴などを贈ったり、笛の演奏など、子どもらしい奉仕活動をしています。

▽石川 豊治さん（須賀）
八坂神社境内の整備に精進し、特に子どもたちの遊具の保守管理や近くの公衆便所の清掃、空き缶の始末などを黙々と続けています。

▽滝口 登さん（高山田）

高山田倉庫前のバス停に木製の長椅子を造り備えつけ、保育園児の送り迎えの人たちやバスを待つお年寄りなどに感謝されています。

▽中村 徳治さん（高山田）

自宅近くのゴミ集積所がカラスや犬猫などによって荒らされるため、金網でゴミの散乱防止を図り、近所の人たちから感謝されています。

▽本吉 たかさん（新町）

▽渡辺 らくさん（新町）
町のあちこちへ花を咲せようと、月見草を咲かせる会の活動に協力し、種を集めたり

苗を育て移植するほか、環境美化運動にも積極的に尽くしています。

▽恋塚 滝男さん（六軒町）

老人クラブの一員として墓地の清掃を行うほか、ひとりで周辺の草刈や神社の清掃を行い、草花の育成など地域の環境美化に尽くしています。

▽久保老人クラブ

久保区内の墓地にある七体の地藏様の着物が古くなったため、新しい着物、前だれなどを作り、着せ替えさせました。見違えるようになった地藏様を見た多くの人たちに感銘を与えています。

おんじゆく

俳壇

市原 さき
茨の実引いて昔を物語る

渡辺 なつ
木犀くせいの香がついてくる朝の市

河崎 康代
花野過ぐ空っぽ電車幾度も

猪鼻 とき
尾花ゆれお座敷電車通りすぐ

吉田 子陽
稽田に轍の残す水ひかる

山口 つる
訪えばコスモスゆれて人気な

今井 アキ
野菊咲く小さな駅の人まばら

伊藤十九二
こげめしに味噌つけにぎるそ

嵯峨 通恵
ぞろ寒

岡田 たづ
木枯の駅に発車の音やさし

弓友の名と同じ郁子のなつかしき

小平寿江子
老独り生きるにたのし秋日和

石井 たま
祝ぎことの近つき菊の盛りつ

土井 久恵
見上げれば空に吸はれし返り

岩瀬 京子
花

ポケットに乾びし木の実旅終

石田ゆき緒
拓かれてみちの生れり赤のま

ま

この道ひと筋

長年の活躍に

晴れの叙勲

十一月三日、長年各分野で活躍された方々におくられる秋の叙勲が発表され、本町から前御宿町消防団長の井上 敷さんと前御宿町漁業協同組合長の露崎英三さんが晴れの榮譽を受けることになりました。

勲五等瑞宝章

井上 敷さん
(前御宿町消防団長)



井上さんは、昭和十八年に旧布施村警防団団員を拝命、以来昭和六十一年三月に消防団長辞職までの四十三年間、地域防災を担う消防団員として尽力しました。

消防組織の充実、強化を図るため消防機器、水利等の施設整備や団員の確保、育成に力を注ぎました。特に、小隊教練の実施を提唱。現在でもその成果は高く評価されています。

また、火災予防は住民一人ひとりの心構えが大切であることを訴え、毎年十二月一日の防火デーに「火の用心ステッカー」の配布を兼ねて、消防団による各家庭の査察を実施。さらに、夏の観光ピーク時には、海水浴客の安全確保を図るため、観光協会に協力を申し入れ、団員を率いて出動するなど、消防団幹部としてきめ細かな活動も実践しました。

した。

消防団活動の傍ら、交通安全指導員、民生児童委員としても活躍しています。

(上布施 六十四歳)

勲六等

単光旭日章

露崎 英三さん
(前御宿町漁業協同組合長)



漁港の施設整備が充実され、御宿町の基幹産業である漁業の近代化が促進されました。また、栽培漁業にも力を注ぎ、磯根漁場の造成、種苗放流、磯根資源の適正管理により、生産高の向上が図られました。

した。

さらには、組合員に対し、旬掛積立貯金の奨励、実行と青色税務申告を推進し、漁家経営の安定を図りました。

(須賀 七十一歳)

鈴木消防団長らに

感謝状

自治体消防四十周年記念

今年、自治体消防制度が発足して四十周年。千葉県では長年消防業務に尽してきた団員や職員に対し、感謝状を贈りました。

▽自治体消防制度四十周年記念知事・県消防協会長感謝状

鈴木 信一さん(町消防団長)

増田 誠次さん(同副団長)

佐藤 寿夫さん(同救護部長)

地道な福祉・募金

活動をたたえる

県社会福祉大会

十一月十四日に千葉市で開催された千葉県社会福祉大会の席上、長年地域福祉活動に尽力された民生児童委員の方や共同募金活動に功績のあった方々が表彰されました。▽千葉県社会福祉協議会会長表

彰(民生委員児童委員功労者)

松本半蔵(浜)、石田行雄(岩和田)、吉田美和子(六軒町)

井上 敷(上布施)、島田菊枝(高山田) 以上敬称略

▽共同募金優良地区感謝状

六軒町区(加藤幸太郎区長)

▽共同募金従事功労者表彰

神定 実(須賀区長)

日赤募金でも表彰

日本赤十字社から次の法人会員の方々へ功労賞が贈られました。(敬称略)

▽銀色有功賞

岩和田漁業協同組合(畑中常司組合長)

▽日本赤十字社長感謝状

吉野長康(新町三〇八)

(市内山商店(新町四八一))

▽金色特別社員賞

野口一夫(須賀一八五)

吉野俊弘(上布施一三五四)

吉野俊行(新町七四八)

町では昭和六十四年四月から保育所入所を希望する児童の申請受付を次の日程で行います。

申請書類は、町住民課または保育所に用意してあります。

保育所の入所受付

受付は各保育所で



入所申請の受付日程

月 日	時 間	場 所	地 区
12月8日(木)	1時～3時	岩和田保育所	岩和田地区
12月9日(金)	9時～ 11時30分	御宿保育所	上布施、実谷、七本、 高山田、久保
"	1時～3時	御宿保育所	新町、六軒町、 須賀、浜

◇ 入所資格

日中、保育に欠ける児童

◇ 入所の要件

入所については、決められた措置順位により家庭保育の困難な児童から定員の範囲内で決定します。

なお、年度内入所は随時受付します。

(住民課)

障害をもつ人の

社会参加を進めよう

12月9日～15日

身障者福祉週間

一口に障害をもっている人、程度など、身体的・社会的ハンデいはさまざまです。

しかし、障害をもっている人の多くは、それを乗り越え、自立しようとしています。十二月九日は「障害者の日」、また九日から十五日までは、「身体障害者福祉週間」です。障害をもっている人の努力を認め、社会への「完全参加と平等」を進めていくためにも同じ社会の構成員として支え合っていくことが必要です。



御宿町身障福祉会(新井久栄会長)では、こうした身体の不自由な人たちの悩みや意見を理解してもらおうと、このほど、地域福祉に携わる民生委員のみなさんと話し合う機会をもちました。

町には現在約二百二十名の身障者の方がおり、その三〇%が重い障害をもっているといわれています。

身体にハンデを持ちながらも積極的に社会参加をしようとする人たちの声を紹介し、みんな考えていきたいと思

います。

「外で働きたい、社会の役に立ちたい」という意志はあるが技術を身につけるチャンスがない。今度夷隅町に広城市町村圏組合の「福祉作業所」がオープンしたが、技術を修得させる所ではないようだ。また、遠くて通えないなどの問題もある。」

「授産施設でワープロの技術を取得した人もいるが、社会参加まではいかない。全ての面で健康な人と同じ仕事ができるわけではないが、ある部門では十分に出来ることがある」ということを理解してほしい。」

「障害者手帳を持っていても働けなくともという声を聞くが、実際に年金を受けているのは、一級、二級という重度障害の人たちです。その点を誤解している人が多いのは残念です。」

このほか、災害時における障害者や寝たきりの方の避難方法やボランティアの養成、緊急時の医療問題などについての意見交換が行われました。

先人・先輩たちの熱き思いを胸に



出発の日—2万4千キロの旅の安全を祈願する(春日神社)

アカプルコ親善訪問と

メキシコ視察報告記

前号の滝口町長の報告に続き、参加した有志からメキシコ訪問視察記が寄せられました。二回に分けて掲載します。

昭和五十一年九月、商工会青年部の有志が初めてメキシコを訪問。その後、五十三年八月にはアカプルコ市と姉妹都市協定を締結、さらに同年九月、商工会青年部が二度目の親善訪問を行った。

そして、五十三年十一月、メキシコ大統領ロペス・ポルティエヨ氏が来町。わが町は大いに湧いた。

あれから十年——わたしたちは、先人、先輩たちの献身的な努力により積み重ねられた国際友好の絆を再確認し、より深いものとするため、町が募った「アカプルコ親善訪問とメキシコ視察」に旅立った。

出発の日

滝口町長を団長に総勢十六

名の使節団は、多くの町民のみなさんに見送られ、九月七日、御宿を出発した。目的は姉妹都市アカプルコとの友好を深め、日本とメキシコとの国際親善に寄与すること。そして、リゾート先進地であるカンクン・アカプルコをつぶさに視察し、リゾートの町づくりをめざす、わが町の糧とする。

空港へのバスの中、「カバンは軽いけど、任務は重い」と副団長。こうした和やかな雰囲気の中、日航十二便は夕刻六時、成田を飛び立った。經由地バンクーバーまで八時間半。約二時間の給油休憩の後、再び機上の人となり、四時間後にメキシコシティに到着した。

日本・メキシコ間、空路一万二千キロを十四時間半。時差は十五時間（メキシコの方が遅い）なので、空港の時は、七日後午後五時三十分を指していた。

東信行先生とメキシコ政府から女性秘書官が迎えてくれた。東先生とは一か月前、マリガランテ号寄港時にお会いしたばかりだったが、非常

に懐しく思われた。

メキシコ・シティ

人口一千八百万人。標高二千二百四十一メートルという盆地に位置し、年間気温は十八度〜二十四度で過ごしやすいつわられているが、朝晩の冷え込みがあるのも事実。

盆地状をなすシティの大部分は、かつて湖であり、徐々に埋め立てられ、現在の大都市が形成されたという。

バスは市の中心部ソカロ広場に向かう。十四世紀中頃、アステカという民族が、このソカロ一帯に王国を築いたが、当時は湖の中の小島であったそう。

夕暮れ時のシティの街並は、比較のおだやかで、商店街が夜七時になると閉店してしまいうせいか、一千八百万都市に似合わず人通りは、そう多くない。街路の照明が少し暗く感じられたが、これは省エネのためではなく、文化性によるものと知らされた。

最初の宿泊先グランホテル

は、ソカロ広場に面し、広場をとり囲む四、五階建のフランス様式建築群の一面にあった。一八七〇年にメキシコ政府の迎賓館として建設され、二十世紀に入りホテルとして使用される。玄関ロビーの天井に輝くステンドグラスは、歴史の古さを物語っているようだ。

歴史の国 メキシコ

四時三十分起床。五時三十分にはホテルを出て、空路メリダに向かう。約一時間半。メリダは天候悪く、風と雨で視界不良。一回目は着陸できず、二回目にかかるうじて着陸。団員、皆、胸をなでおろす。同時に乗客から安堵の拍手。機長はアナウンスで「サンキュー」。笑いが機内に満ちる。通常あまり見られない光景だった。



四方に階段が91段、上部にさらに1段。この階段はマヤの暦をあらわしている。すなわち、 $91段 \times 4 + 1 = 365日$ 。

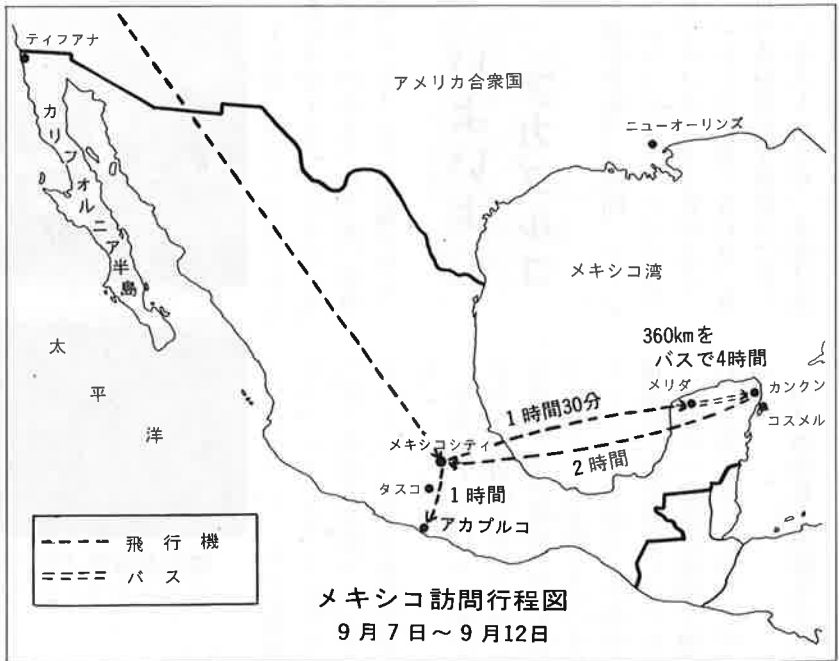
バスでマヤ文化の象徴と言われる チツェンイツァアの遺跡を見学する。

メキシコの歴史

文明としてのメキシコの歴史は、紀元前八世紀オルメカ文化にはじまる。その後紀元前二世紀頃、マヤ文化がおこり、ティオイワカン、トルテカ、アステカへと文明が継承発展していった。オルメカの時代に既に文字や数字を有し、マヤの時代には天文学や数学に結実している。この時代には、芸術や建築技術も

盛んになり、八世紀頃、マヤ文化は最盛期を迎えた。古典期マヤの代表的な宗教都市の跡が、このチツェンイツァアです。

チツェンイツァアとは、マヤ語で「聖なる泉の地」の意味。日本では一千年以上も昔の遺跡となると、考古学研究所などの発掘により大事に保存され、身近にふれることは難しいが、ここメキシコでは一千数百年前の遺跡があちこちに裸で存在している。そのため歴史が身近に感じられる。



「歴史の国」と言われているゆえんは、そのへんにあるのかもしれない。チツェンイツァアの遺跡をあとに、バスはハイウェイをひた走る。時速百キロ。運転は乱暴だが非常に巧い。途中、ところどころに原住民インディオの部落があり、バスがとまると子どもたちが、果物や野菜を手に寄ってくる。家屋には家具など見当らず、生活の様子は質朴そのものに見えた。バスは、三百六十キロの道のりを約四時間で突っ走り、カンクンに着いた。

リゾート地の典型 カンクン・コスメル

年間平均気温二七・二度。一年の三分の二が晴天。ユカタン半島からカリブ海に突出したL型の砂州にホテルが林立し、絶好のリゾート地を形成するカンクン。

ホテル街、住宅街は、きちんと区画され、街路は緑化植

樹され、整然と整備されている。

ここは十五年ほど前から急ピッチで開発が進み、一九八一年には、各国首脳を集めた「カンクン・サミット」が開催され、一躍その名を世界に知らしめた。

砂州上に建つホテルの窓からは、静かな礁湖（ラグーナ）が一望でき、ホテルの裏手はどこまでも続くカリブ海の青さ。波打ち際からホテルまで

は、さほど距離はなく、日光浴のサンチェアが、きれいに並んでいる。

もちろん砂浜には、ゴミひとつない。砂は雪のように白い石灰状の粉。カンクンの砂は、サンゴ礁からできている。午前九時にホテルを出て、

観光船でコスメル島に向かう。船上、やけつくような太陽に肌を焦がし、陽気なメキシコの人々は軽快なリズムで歌う。つられて皆、一緒に歌う。アメリカ、イタリア、スペイン、イギリス、そして日本。

歌の中に世界がとける。船上から見た海岸の風景は美の極致を現出している。空の色、建物の色、砂の色——その風景の一コマ一コマが、まるで大芸術家の描いた絵のように鮮明に浮かびあがった。

南国の強い日差しは海を射り、海底のサンゴ礁に反射してホワイトブルーに輝く。まるで別世界。これがリゾート地なのか。

外部資本の波にあらわれながらも、よくリゾートづくり

に成功し、現在もなお、建築中のホテルがあちこちに見られる。

る。



静かな礁湖（ラグーナ）に面したカンクンのリゾートゾーン（コスメル島へむかう船中から）

十年後、カンクンはどんな顔に変貌するのだろうか。カンクンのあまりにも強い印象は、そんなことを想像させた。

いよいよ アカプルコ

午前中、ソチミルコを視察。ソチミルコとは、アステカの言葉で花畑を意味する。ランチャという花船で水郷を巡った。

夕刻、アカプルコに向け飛び立つ。南国アカプルコの空は晴れて星が輝やいていたが、三日ほど前に通過したハリケーンによる大雨で、平坦部や道路の一部が浸水している。

山間の一部は豪雨で流され、多数の被害が出たのとこと。

明日の市長との接見が気にかかる。

感激の 市庁舎訪問

思ったとおり、市長は災害の見舞い、救済で多忙をきわめ、午前中の予定が午後に変更された。

午後一時、市庁舎を訪問。庁舎は、アカプルコ湾を一望できる小高い丘の上にあった。



友好の絆さらに強く—アカプルコ市長と握手する滝口町長

市職員に手厚く会議上に案内され、市長と八名の全市議会議員、多数の市関係者に暖かく、そして厳かに迎えられた。

イスラエル・サベラニス・ナグエグ市長は、三百八十年前に私たちの祖先が遺した偉業をほめ讃えた後、こう挨拶された。

「私たちは今、大いに人間を尊重し、人間の心をもってお

付き合いをお願いし、もっともっと友好を深め、世界の平和に心をつなぎたい。今後、経済的のみならず、人間の心のふれあいのパイプを太くすればするほど、それが友好親善、世界の平和につながるものと確信します。」

「今日は天気もこんなに晴れて、アカプルコの自然全体が皆さんを歓迎しています。アカプルコの人たちは、とても心の暖かい人たちです。三日間の滞在中、大いにアカプルコの人たちと親しみ、自然を楽しんでいただきたい。そして、御宿に帰ったら、アカプルコの素晴らしさを皆さんに伝えてほしい。」

わたしたちが持参した国旗には、「御宿とアカプルコの交流がもっともっと深くなりませう、心をこめて記す」とサインされた。

滝口町長は、市の公文書録の1ページに「友好のしるし」をきざんだ。

市長公室での歓談。自己紹介を含め、直面する行政課題について話を聞く。年々拡大する人口問題。貧富の差からくる子どもたちの教育問題な

ど、苦慮している様子が理解できた。

また、今後友好をさらに深めるため、ホームステイの実施、子どもたちの絵の交換会また、アカプルコ市への友好記念碑の設置など、いくつかの貴重な提案が出された。これらの提案が、人間の平和という強い信念で裏打ちされていることは言うまでもない。



いくつもの入江が素晴らしいリゾート海岸となっているアカプルコ

市長は、御宿が立派なリゾートの町になるようにと、市にある都市計画に関する資料などを活用するよう進められた。また、教育関係者のルシオ・ツァモーラさんは「アカプルコの歴史」を送ると約束。

予定時間をかなりオーバーし、午後三時、市庁舎を後にした。
(次号に続く)

保健



布施健康相談

【日時】12月1日(木)午前9時30分から午前11時30分

【会場】新久井青年館
【内容】血圧測定、個別相談、みそ汁の塩分濃度測定

岩和田健康相談

【日時】12月3日(土)午前9時30分から午前11時30分
【会場】岩和田青年館

【持ち物】四十歳以上の方は健康手帳

乳児相談

【内容】血圧測定、個別相談、みそ汁の塩分濃度測定
【持ち物】四十歳以上の方は健康手帳

【日時】12月6日(木)午後1時30分から午後3時

【会場】公民館

【対象】一歳未満の方

【内容】身体測定、保健栄養指導

【持ち物】母子手帳

妊婦教室・E

【日時】①12月7日(水)②12月14日(水)午後1時30分

から午後3時

【会場】公民館

※環境衛生課窓口で申込受付

秋期三種混合・II期

【日時】12月8日(木)午後1時から1時30分まで受付

【会場】公民館

【対象】昭和59年7月1日から12月31日生まれの方

【持ち物】母子手帳、問診票

血圧相談

【日時】12月9日(金)午前9時30分から午後3時

【会場】公民館

【内容】血圧測定、個別相談、みそ汁の塩分濃度測定

【持ち物】四十歳以上の方は健康手帳



お誕生

おめでとございます

十月届 男三 女五 計八

区名 出生児 保護者

高山田 井上 慎哉 定・雄

久保 高梨 淳 政幸

久保 齋藤万里絵 満

新町 棗 結香 誠

岩和田 根本明日香 輝夫

岩和田 岩野千賀子 功

実谷 村石亜由美 愛二

上布施 吉野 巧 信之

お悔み

十月届 男四 女五 計九

区名 死亡者 年齢

須賀 鶴岡 長 88

須賀 石井 ソヨ 85

高山田 井上みつ子 56

久保 白鳥 モト 88

新町 山田 よし 59

新町 石井 常治 82

新町 花野井弥太郎 82

新町 片岡 要 85

岩和田 白鳥 よ志 80

健康料理

肥満予防のために 常夜鍋

〔材料〕(四人分)

○豚赤身極うす切

四〇〇グラム

○ほうれん草 大一束(四〇〇グラム)

○グラム

○薬味(大根、ねぎ、赤唐辛子)

○ポン酢(ゆず汁 大さじ三 しょう油 大さじ三)

〔作り方〕

①ほうれん草は根元を切りおとして、半分に切る。

②真中に種をぬいた赤唐辛子をつめ、大根おろしをつくる。

ねぎは小口切りにし水にさらす。ゆずのしぼり汁としょう油をまぜ合わせる。(市販のポン酢しょう油でもよい)

調理方法としては、網焼、蒸す、煮るなどが低カロリーとなります。

人口

11月1日現在

男 3,871人

女 4,226人

計 8,097人

世帯数 2,490世帯

発行 千葉県御宿町
発行責任者 滝口 栄蔵

編集 総務課広報係
電話 0470(68)2511